



# 駅チャレ通信3号



## 埼玉県議会議長 自由民主党議員団

# なかやしき慎一



### ひたむきに 「県政！」

エスカレーターでは  
左右両側に立ち止  
まろう！！



全国初！！  
「埼玉県エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例」  
(令和3年10月1日施行) 提案者代表

◎県議会2月定例会開会中！ 今週は予算特別委員会が開かれます。

## 令和5年度当初予算案

### ③「日本一暮らしやすい埼玉」実現への加速 県民の暮らしの安心確保

**一部新規拡充 交通安全対策の推進** 29億5,591万2千円

- ◆ 通学路グリーンスポットの整備
  - ・ 児童などが安全に待機できる空間の整備
- ◆ 歩道や自転車通行空間の整備
  - ・ 通学路を優先した歩道の整備
  - ・ 安全で快適な自転車通行空間の創出

埼玉県知事記者会見 令和5年2月13日 ⑧

### ③「日本一暮らしやすい埼玉」実現への加速 介護・医療体制の充実

**新規 地域医療体制の充実** 3,357万7千円

- ◆ Tele-ICUによる重症患者の医療提供体制の充実
  - ・ コロナ重症病床のために整備したICTネットワークをコロナ以外の重症患者の治療に活用
  - 連携病院を拡大  
5病院 → 9病院
- ◆ 小児・AYA世代の終末期がん患者の在宅医療体制の整備
  - ・ 医療従事者向けに
    - 患者の特徴を踏まえたオンライン研修の実施
    - 疼痛管理等の実技研修の実施

ご自身の希望する場所で終末期を送ることができる在宅医療体制を構築

埼玉県知事記者会見 令和5年2月13日 ⑨

### 「なかやしきの思い」

交通安全対策の歩道整備では、広田小学校から広田交差点、さいたま鴻巣線原馬室地域で事業を進めます。介護・医療体制の充実では、コロナ重症病床のために整備したICTネットワークをコロナ以外の重症患者の治療に活用し、9病院に連携を拡大し取り組みます。

③「日本一暮らしやすい埼玉」実現への加速

子育てに希望が持てる社会の実現

新規 子育て支援の充実 24億3,013万6千円

◆ 安心して出産・子育てのできる相談支援と経済的支援の一体的実施

- ・ 妊娠期から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援と経済的支援を実施する市町村への補助



- ・ 市町村が実施する第1子以降への給付事業等に乗せて、最大1万円相当のギフトボックス等を配付

◆ 様々な子育て家庭のニーズに対応する支援

- ・ 多機能型地域子育て支援を推進
  - 産前産後から就学後まで身近な地域で安心して子育てができるよう市町村と協働して推進



拡充 少子化対策の推進 1億 71万1千円

◆ 若年層を対象とした不妊・不育症検査助成費の拡充

- ・ 若い夫婦の不妊・不育症の検査費に対する助成を拡充
  - 早期検査の受検を促進

助成額 2万円/件

女性年齢35歳未満 3万円/件



新規 児童虐待防止対策の強化 1億4,929万8千円

◆ 朝霞児童相談所(仮称)の整備

- ・ 管轄人口の平準化、迅速かつきめの細かい対応を図るため、朝霞市内に児童相談所(一時保護所付設)を整備
  - 令和7年度開所予定



朝霞児童相談所(仮称)イメージ

埼玉県知事記者会見

令和5年2月13日 ⑩

③「日本一暮らしやすい埼玉」実現への加速

未来を創る子供たちの育成/人生100年を見据えたシニア活躍の推進

拡充 多様なニーズに応じた教育の推進 26億5,463万円

◆ いじめ・不登校等に対応するスクールカウンセラーの拡充

- ・ 小学校のスクールカウンセラーの配置時間拡充
  - 小学校576校 月1回半日 ▶ 月1回終日
- ・ 高校のスクールカウンセラーの配置校拡充
  - 全日制高校 18校 ▶ 30校



いじめ・不登校等に関する児童生徒の悩みや不安の改善・解消

◆ 特別支援学校の整備

- ・ 児童生徒の増加に対応するため、特別支援学校を整備

事業内容	設置場所	設置規模
高校内分校の設置	大宮商業・新座柳瀬・三郷北高校内 (R6開校)	144人
既存校の増築	川口特別支援学校 (R8・R10供用開始)	174人
計		318人

一部新規拡充 生涯を通じた健康の確保 3億6,374万7千円

◆ 民間アプリを活用した新たな健康増進事業の導入

- ・ 歩数に加え栄養などの健康データを管理できる民間アプリへ移行
  - 市町村が主体となり健康データを生かした保健指導などに活用
- ・ コバトン健康マイレージからの移行を後押し
  - コールセンターの設置・操作講習会の実施など



一部新規拡充 シニアの活躍支援 9,326万3千円

◆ 埼玉未来大学のカリキュラムの充実

- ・ ライフデザイン科の充実
  - 学習期間 6か月→1年に延長
  - フィールドワークや体験型学習を強化
  - オンラインコースを新設
- ・ 農業に関する専門講座を新設
  - セカンドステージで農業に関わりたいシニアのニーズに対応



埼玉県知事記者会見

令和5年2月13日 ⑪



「なかやしきの思い」

県多子世帯応援クーポン事業の後を受け、妊娠期から出産・子育てまで一貫した支援を実施する市町村への補助を行います。また不妊・不育症検査助成費も拡充します。そして、コバトン健康マイレージ事業から民間アプリを活用した新たな健康増進事業への移行を後押しします。